

平成29年3月定例会会議録（第4号）

平成29年3月8日 水曜日 午前10時00分開議

渋谷 佐輔 議長 五十嵐 智洋 副議長

出席議員（16名）

1番	宇津木 正紀	議員	2番	浅野 敏明	議員
3番	金子 豊美	議員	4番	内谷 邦彦	議員
5番	平 進介	議員	6番	鈴木 富美子	議員
7番	渡部 秀樹	議員	8番	今泉 春江	議員
9番	梅津 善之	議員	10番	赤間 泰広	議員
11番	小関 秀一	議員	12番	五十嵐 智洋	議員
13番	蒲生 光男	議員	14番	安部 隆	議員
15番	町田 義昭	議員	16番	渋谷 佐輔	議員

欠席議員（0名）

説明のため出席した者

内谷 重治	市長	泡 渕 栄人	地方創生参事
松木 幸嗣	厚生参事	竹 田 利弘	総合政策課長
高石 潤一	総務課長	渡 邊 洋男	財政課長
桐生 芳弘	公共施設整備課長	赤 間 茂樹	地域づくり推進課補佐
佐野 安広	税務課長	鈴 木 広弥	市民課長
伊藤 亮一	健康課長	佐 藤 隆	福祉あんしん課長
金子 剛	子育て推進課長	堀 越 俊一郎	監査委員
平田 裕	教育長	鈴 木 國男	選挙管理委員会委員長
鈴木 榮一	農業委員会会長	谷 澤 秀一	産業参事
青木 邦博	建設参事	遠 藤 敏広	農林課長
手塚 慶一	商工観光課長	横 山 照康	産業活力推進課長
渡部 和裕	建設課補佐	種 村 正一	上下水道課長
渋谷 憲治	会計管理者兼会計課長	横 山 賢一	教育参事
鈴木 博郎	学校教育課長	川 村 直人	文化生涯学習課長
小関 浩幸	生涯スポーツ課長	鈴 木 良弘	選挙管理委員会事務局長

高橋 洋一 監査委員事務局長
渋谷 正通 消防主幹

中田 浩之 農業委員会事務局長

事務局職員出席者

飯澤 常雄	議会事務局長	小林 克人	補	佐
若月 由紀	議事調査主査	飯澤 光梨	主	任
安達 洋司	主任技士			

議事日程（第4号）

平成29年3月8日 水曜日 午前10時00分開議

日程第 1 市政一般に関する質問

5番	平 進介	議員
15番	町 田 義昭	議員
7番	渡 部 秀樹	議員
11番	小 関 秀一	議員

本日の会議に付した事件

議事日程（第4号）に同じ

開 議

○**渋谷佐輔議長** おはようございます。

これから本日の会議を開きます。

本日の会議に欠席の通告議員はございません。

よって、ただいまの出席議員は定足数に達しております。

なお、齋藤環樹総務参事から、本日の会議を欠席させてほしい旨の届け出がありましたので、ご報告いたします。

本日の会議は、配付しております議事日程第4号をもって進めます。

日程第1 市政一般に関する質問

○**渋谷佐輔議長** 日程第1、市政一般に関する質問を昨日に引き続き行います。

それでは、順次ご指名いたします。

平 進介議員の質問

○**渋谷佐輔議長** 順位11番、議席番号5番、平進介議員。

(5番平 進介議員登壇)

○**5番 平 進介議員** おはようございます。

東日本大震災から間もなく6年を迎えようとしております。死者、行方不明者が2万人を超えるという未曾有の大震災となりましたが、その復旧復興が進む中でも、岩手、宮城、福島の被災3県の評価と不満は相半ばとの報道であります。復興庁のデータによれば、本年2月現在

の全国の避難者等の数は約12万3,000人で、全国47都道府県1,094の市区町村に避難されているということでもあります。

何げないふだんの生活を突然奪われ、長期にわたる避難所等の生活は余りにもつらく、いつというめども立たない中で、その苦悩は私たちの想像を絶するものがあるのではと思います。

長井市では、東京電力福島第一原発事故に伴う自主避難者への支援策として、福島県の自主避難者への住宅無償提供の打ち切りを受け、新年度から定住促進住宅の家賃を減免するとのことであり、避難者の声に耳を傾けた対応に評価したいと思います。

国を挙げての一日も早い復興を願うばかりであります。

また、去る5日、長野県の消防防災ヘリコプターが山岳救助訓練のために離陸し、その後、墜落が確認され、搭乗していた9名全員が死亡するという痛ましい大惨事が発生しました。

消防防災ヘリコプターは、全国では45都道府県等で76基が配備されております。防災ヘリに派遣される消防隊員は、それぞれの消防本部の中でも技術力、精神力を備えた各消防本部を代表する精鋭の隊員たちであります。

山形県においても、パイロット及び整備士を除き、県内の消防本部から派遣された精鋭の隊員約10名で組織され、消防航空隊として消防防災ヘリ「もがみ」に搭乗し、日々、救助活動や救助訓練活動に励んでおります。西置賜消防本部からも現在派遣しておりますので、消防行政にいささかでもかかわった者として、人ごとでない事故に戸惑いを感じております。

人の命を救うはずの隊員が、こうした事故に遭遇することは非常に残念でなりません。今の時期は隊員の異動により交代する隊員が訓練を行う時期でありましたので、新人隊員が搭乗しているのではないかと思ったところですが、西置賜消防本部の署長や消防主幹の話では、まだ